

いずボラ通信

No. 228 令和7年4月
発行：環境学館いずみ
「3月のできごと」

～環境学館いずみボランティアスタッフ・職員による「いずみガイド」～

3月16日(日)開催 第12回いずみ自然塾 交流会

はじめに

2025年3月16日、今回は「自然を育む輪を広げる」をテーマに1年間続けてきた講座の締めくくりです。塾生の方々が今後も自然に親しんでいただけるように、以下の2つについて情報交換をおこないました。

- ・坂戸周辺の自然が残るお薦めの場所
- ・自然観察の楽しみ方

最初に講師及び塾生の方々が事前に考えてきた内容を2分スピーチ、その後、4つのテーブルに分かれて意見交換をおこないました。

最後に、講師の方々へのお礼と、1年間参加された塾生の頑張りにみんなで拍手をし、記念写真を撮り講座を終えました。

内容は以下のとおりです。

1. 坂戸周辺の自然が残るお薦めの場所

- ① 植物の場合には、どこでも楽しめるが、季節にあった場所を選ぶと良い、石坂の森、熊井の森、森林公園、黒山三滝
- ② 野鳥の猛禽類は坂戸に多く、坂戸にいる134種の野鳥のうち、14種の猛禽が見られる
- ③ 色々見られるのは城山、脇を流れる高麗川は砂利の川で色々な石を見ることができる
- ④ 坂戸市東部の越辺川沿いの田んぼと河畔林が繋がる環境は野鳥などが多い
- ⑤ 城山と新しき村
- ⑥ 新しき村、農薬不使用の田んぼは生きものがたくさん、谷戸の風景は心和む
- ⑦ 城山橋付近から日高方面に向かう高麗川の遊歩道、カワセミの姿が見られ、水面に映るみどりがきれい
- ⑧ 城山、色々な動植物が見られる
- ⑨ 千代田公園と富士見緑地は緑が多様で、鳥たちも見られる
- ⑩ 小川町の里山、東秩父安戸のマンジュシャゲ祭り
- ⑪ 慈眼寺の枝垂れ桜、高麗川のコミュニティパーク、ナチュラルガーデン

- ⑫ いずみ自然塾で訪ねた場所すべて
- ⑬ 越辺川の島田、赤尾、小沼、横沼、紺屋
- ⑭ 万年橋付近はホタル、カエル、メダカ、キジなど
- ⑮ 坂戸は自然がいっぱい
- ⑯ 今はホトケノザ、センダンの木は見ごたえがある

それぞれお気に入りの場所があるようですが、様々な動植物が見られる城山と川沿いが人気なようです。猛禽類を見られるのが坂戸の特徴で、植物はどこでも見つけることができ、季節ごとに楽しめそうです。里山は新しき村か、鳩山、越生、小川町まで足を延ばすことになりそうです。

2. 自然観察の楽しみ方

- ① 広く大きく、小さく細かく、時間（成長、季節の変化、年を経ることの変化）、他の趣味と合わせて、自分の好きなものを見に行く、いつもと違う場所に行くのも良い
- ② 集めて眺めて整理し、調べること、虫食いの葉っぱでも楽しめる
- ③ すき間時間を使った観察、土手の散策、坂戸市の散策マップなどを活用する
- ④ 場所を決めて季節を通して見る、記録を残す
- ⑤ 8万円ほどの望遠付きデジカメをフィールドスコープ代わりに、写真に撮れば後で調べられる
- ⑥ 虫眼鏡でしてみる
- ⑦ 自然塾でオニグルミの木は雄花と雌花が同じ株につくことを学び、興味を持ち、自分で採取して実の皮を取り、種を食べた
- ⑧ いずみ自然塾で得た知識を活用した観察
- ⑨ 観察会に参加して、メモを残し、図鑑で確認する
- ⑩ 時間を変えてみる、夜景も良い
- ⑪ 知識を増やすには観察会に参加する

楽しみ方も様々ですが、視点を変えること、記録に残すことが楽しみを広げるようです。

また、楽しむためには、観察対象の知識が必要です。そのためにも記録を残して、調べる必要があります。いずみの自然塾が知識を増やすための一助になっているようです。

植物は、採取には配慮が必要ですが、食べることも楽しみ方の1つとなっているようです。

3. 講座を終えて

今回は、初の試みで 15 分ごとに、4 つのテーブルを回る町カフェ形式の交流会を行いました。講師の方に今まで聞けなかったことをお聞きし、自然との関わり方をみんなで共有できたのではと思います。私たちの町の自然を感じて生活できる幸せをみなさんと分かち合えることが自然塾の意義と感じました。もっと自然を楽しんで町の誇りとなれば、坂戸の自然環境が守られ、生きものたちと共存できる暮らしができると思います。そのためにはこれからも自然塾を続けなくてはと心を新たにしました。



記 環境学館いずみ運営ボランティア Y. I